

◆◆◆ 山田 政幸 議員 ◆◆◆



防災対策について問う

質 地域における自主防災組織の設置は、村民の生命、財産を守る立場から最も重要な課題。行政区での設置に向けて、どの様に取り組みされているか。

答 総務課長 新里勝弘

現在、10行政区が組織を立ち上げており、平成25年度に約百万円の資機材の提供、また、県が実施する自主防災組織のリーダー研修等に参加、周知を図っています。まだ設置していない行政区につきましては、情報提供して、喚起していきたい。

質 村は地形的にも南北に細長く、殆どの集落が海に近い。特に、名嘉真区は海拔が低い上、集落の中心を川幅の広い2級河川が流れており、山側へは、この1本の橋を渡らなければ避難することができません。

安全な場所への避難経路に、一極集中する災害パニックが懸念されます。名嘉真川橋梁整備事業は、避難経路としての機能も考慮し、地元の意見も取り入れた設計施工をお願いしたい。

建設課長 大城 学

名嘉真の橋については、公民館側の橋と、国道の橋との中間付近、



名嘉真川にかかる橋「名嘉真橋」

両方から250メートルぐらいのところに橋を設けるということで、概略設計を行っています。その後、地元へ説明会を予定しています。

質 防災計画で、備蓄倉庫の整備、緊急避難場所として、村内のリゾートホテルも含めた各事業所、キャンプ・ハンセン内への緊急避難、米軍との協定書の締結を伺います。

総務課長 新里勝弘

備蓄倉庫につきましては、今年度、県民の森、喜瀬武原校、給食センターの方に、設置の準備を進めているところです。村内ホテルとの津波時における一時避難所の使用についての協定も、標識の設置と同時に並行して行っており、軍用地内への避難につきましては、防衛と調整して、可能か検討したい。

質 村民の防災意識の向上と災害への準備が必要だと考えますが、今後の防災活動の取り組みについて伺います。

総務課長 新里勝弘

避難経路として、ハード面は村で確実に進めておりますが、その

中で、自主防災組織の強化を図っていきたくと考えております。

答 村長 長浜善司

今年度中に避難標識等の設置事業を、早急に進めて参ります。それと同時に、米軍、自衛隊との協定も含め、村内ホテル、事業所と津波発生時における一時避難施設の使用に関する協定を、今後は進めて参ります。



赤間運動場駐車場に設置した備蓄倉庫

◆◆◆ 吉山 盛次郎 議員 ◆◆◆



しまくとぅばの普及

質 現状認識で、「島くとぅば」の普及、どの様に思われているのか。

答 学校教育課長 石川 司

「語やびら島くとぅば大会」等で、小中学生のエントリーの数が多く見られ、以前に比べると普及の方向に向かっている。

質 学校など、教育の場で学習カリキュラムの中に設定しているか。構想はあるのか。

答 学校教育課長 石川 司

現在、各学校では学習カリキュラムとして「島くとぅば」の学習は、

国語及び総合的学習での授業がなされております。小学校3年から中3までの各学年、1時間から3時間程度の授業の時数となります。

質 地域や世代間での認識、実情の調査があつて、それに対応できる政策ができる。どの様に把握していますか。

答 学校教育課長 石川 司

現在、恩納村ではその調査は行っておりません。各地域の言葉が、島くとぅばで話すと、なかなか通じないケースが出てくるのは認識しております。教育委員会が施策として、提案していければと考えております。

行政サービスを担う住民組織

質 行政サービスの多様化、また、サービスの需要が増えてきている。教育・福祉、高齢者の生活サポートとか、或いは環境保全。そういう中で、自ら選び、集約する住民組織が結成されるべきだと思えますが、どの様に考えているか。

答 総務課長 新里勝弘

答 総務課長 新里勝弘

恩納村は、行政区を中心とした地域コミュニティが確立されております。財政的にも、現段階で大きな問題はない。しかし、将来的には地域住民が中心になることで経費が抑えられ、より良い効果が生まれる事業も出てくる。その中で、それらの事業に合う組織づくりは、重要なことだと考えます。

観光及びその他の公の掲示板設置

質 現状の公の掲示板の設置状況を、確認されているのか。破損掲示板の補修設置、新設、更新は予定されているのか。次年度の予算措置を伺います。

答 総務課長 新里勝弘

設置状況を調査、確認した上で不備等、新たな設置が必要であれば、次年度の予算の方に計上していきたくたい。

質 インバンドに対応できる掲示は、実施されているのか伺います。

答 商工観光課長 宮平 寛

「むら興し協議会」が、主体と

なつた事業「恩納村歴史風景散策路での多言語歩行者系標識による有償実験事業」で、恩納区、仲泊区、山田区において16カ所の多言語標識等を、設置しております。

平成24年度は、「多言語観光案内サイン事業」として、国頭西方海道歴史の道、浜崎御嶽、塩屋貝塚、ウドウイガマ、唐人墓、海浜公園等に多言語案内板を設置している。

質 キャラクターが掲示板にも反映されているのか。

答 商工観光課長 宮平 寛

従来村の独自のキャラクターとして「ナヒーちゃん」がおり、設置する看板につきましても、積極的に活用していきたい。

赤間運動場の利活用

質 トレーニング室の利活用について、シニア世代がそこに行つて、どういう運動をすれば良いか、それをうまく活用できるわけです。その検討してください。

答 社会教育課長 大城保篤

全体の事務事業の総枠も含めて、確認しながら検討する。